

参宮橋カーブにおける社会実験の概要

社会実験実施期間

2005年9月21日（水）より開始（現在継続中）

社会実験箇所（首都高速4号新宿線より参宮橋区間）



参宮橋区間のデータ

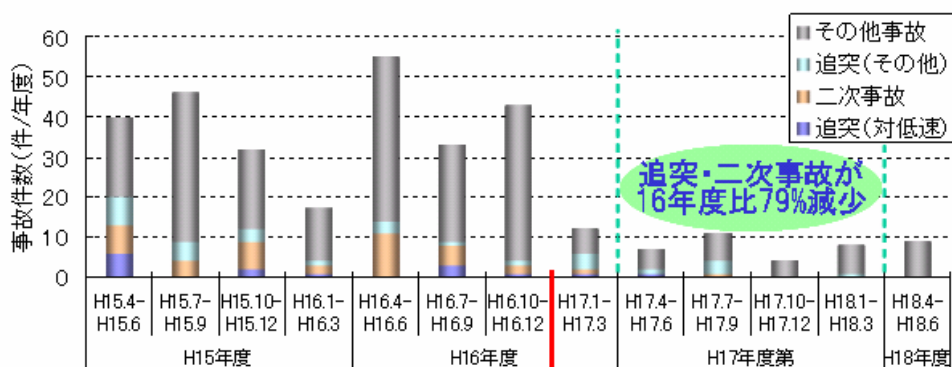
- ・ 曲線半径：88m（設計速度 50km/h、規制速度 50km/h）
- ・ 日交通量：4.6万台／日（平成17年4月の平日平均交通量）
- ・ 事故件数：181件（平成15年度 首都高速ワースト1）

都市高速道路のカーブ対策の必要性

- ・ 首都高速道路では、延長で6%を占める約100箇所の事故多発カーブに21%の事故が集中、参宮橋をはじめとする事故多発カーブ区間での安全対策が望まれています。
- ・ 事故の75%の要因は、ドライバーの認識の遅れや、判断のミスなどのヒューマンエラーであり、車からは見えないカーブ区間での渋滞末尾や停止車両への追突事故に対して事故直前の情報提供が有効と考えられます。

実験結果

首都高4号線参宮橋カーブでの事故件数推移



社会実験開始

図 首都高4号新宿線参宮橋カーブでの事故件数